



# 泉丘SSHだより



第3号 H20.6.3  
編集：SSH推進室  
発行責任者：山下一夫

石川県立金沢泉丘高等学校



## 国際地学オリンピック2008

# 国際大会出場決定！！

3月16日（日）に一次選抜、5月31日（土）二次選抜が行われました。

一次選抜は全国から358名の参加があり、約20名が二次選抜へ進みました。本校からは理科2年の平島君がチャレンジし、二次予選へ進出しました。また先日行われた二次予選において平島君は、見事『最優秀賞』を受賞、国際大会へ派遣される4名の中に入りました。おめでとうございます！！

8月29日～30日まで神奈川県小田原市で開催される国内合宿に参加、その後8月31日～9月8日の日程でフィリピン共和国で開催される国際大会に出場してきます。筆記試験・実技試験、フィールドワーク等が行われる予定です。各国の代表者たちと交流を深めながら、国際チャンピオンめざし頑張ってきてください。



## 国際気候チャンピオン活動報告

英国の国際交流機関ブリティッシュ・カウンシルが主催した「気候チャンピオン」に応募し、『国際気候チャンピオン』に選ばれた3年理科の菅野洋さんが、世界各国から選ばれたチャンピオンたちとロンドンや神戸において意見交換を行い、各国大臣に対して気候変動についての提言を行ってきました。

また、本校の「環境講話」の講師として気候変動について熱く語ってくれました。



### 《英国ロンドン》3月24日（月）～30日（日）

ロンドン国際気候チャンピオン会議に出席し、世界13カ国（ブラジル、カナダ、中国、フランス、ドイツ、インド、イタリア、メキシコ、ロシア、南アフリカ、アメリカ、英国、日本）から集まった気候チャンピオンたちと意見交換を行い、英国首相官邸を訪問し、ヒラリー・ベン環境大臣と会談、気候変動についての提案を行ってきました。

### 《神戸チャレンジ》5月18日（日）～24日（土）

世界各国から集まった気候チャンピオン46名（日本10名、各国3名）たちと「子ども環境サミット in KOBE」に参加してきました。ホームページなどを通じて集まった意見を集約し「神戸チャレンジ」として提言をまとめあげ、5月24日に神戸で催された「G8環境大臣会合」の場で鴨下一郎環境大臣へ神戸チャレンジを手渡してきました。



# 国際気候チャンピオンたちによる提言 (神戸チャレンジ)

(和文)

気候変動対策に取り組むために、私たちは、その難しさを認め、責任を受け止め、一貫性を持って対応しなければなりません。

- \*すべての教育制度に気候変動を取り入れ、実用的な解決策を全社会に提示してください。
- \*厳しい国際的排出権取引制度を導入して、排出を制限してください。
- \*気候変動の避けられない影響によって受ける最悪の打撃のために、技術と資金を提供してください。

(英文)

To tackle climate change, we must recognise the challenge, accept responsibility and respond with integrity.

- \* Integrate climate change into all education systems and demonstrate practical solutions to every community.
- \* Introduce a strict international carbon cap-and-trade system to limit emissions.
- \* Provide technology and funding for those worst hit by the inevitable effects of climate change.

## 《環境講話》5月29日(木) 14:30~15:15

「国際気候チャンピオン」として、ロンドンや神戸で活動してきたこと、気候変動に対する問題や取り組みなどを、本校1年生360名に対し話をしてもらいました。泉丘高校生として何ができるのか、どうすればいいのか考えさせられる講演でした。また身近にいる先輩が国際的に活動している姿に後輩たちは魅了されていました。



### 1年生感想文

- 菅野さんの講義を通じて学んだことは、今まで環境問題はどうかしないといけないとは感じていたが、実際に行動に移してはいなかったことだ。環境についての知識を得るだけではなく、それを自分の生活にどう生かしていくか考え、実行しなくてはならないと思った。
- 一番心に残ったことは、私たちが気候変動について見ようとしていないということだった。情報がないわけでもないし、行動できないという訳でもない。ただ、しようという気がないだけである。今から行動すればまだ間に合うと思う。すぐに実行することが大切だとわかった。恵まれている日本だからこそ、技術などを提供したりするなど、率先して行動していくことが必要なのだとわかった。小さなことでも何かをしていきたいと思う。

報告が大変遅くなってごめんなさい。<( \_ )>

## 北京市科学技術創新コンテスト報告

日本科学技術振興財団の推薦で、3月19日~24日まで化学部の生徒3名が第28回北京市科学技術創新コンテストに海外招待団体の一つとして参加してきました。11ヶ国12団体、総勢66名が海外招待団体として参加していました。

本校化学部は現在取り組んでいる「銀ナノ粒子の研究」と、金沢高校の四ヶ浦先生が開発された金沢の伝統工芸にちなんだ「金箔に関する研究」を発表してきました。また、交流会では日本の獅子舞を披露してきました。

